

合否判定の方法及び基準

対象入試制度

令和7年度 編入学試験

1. 試験内容

「外国語（英語）」「経済学に関する基礎テスト」「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」

* 「外国語（英語）」の評価については、各種検定等のスコアを利用する。

令和7年度入試は受験生0名につき、実績なし。

2. 合否判定の方法と基準

成績証明書、外国語（英語）、経済学に関する基礎テスト、口頭試問の内容から、総合的に判断する。
本学部のアドミッションポリシーに沿って、次のような人物像に合致しているかどうかという点を
中心に評価する。

- ・ 人間・社会・経済に対する強い関心を持っているか
- ・ 日本語・外国語部の読解力や論理的思考能力を中心とした基礎学力を有しているか

令和 7 年度

経済学部 編入学試験 問題

基礎テスト

受験番号	氏 名

A. 次の[1]～[5]を答えよ。

[1] 以下の関数を微分せよ。

$$y = 2e^{7x}\sqrt{x}$$

[2] 以下の関数の最小値を求めよ。

$$y = x^2 - 4x$$

[3] 以下の定積分を計算せよ。

$$\int_1^2 \left(\frac{1}{x^2} + 4 \right) dx$$

[4] 以下の行列の逆行列を求めよ。

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 7 \end{pmatrix}$$

[5] 以下の無限等比数列の和である S の値を求めよ。

$$S = 1 + 0.6 + 0.6^2 + 0.6^3 + 0.6^4 + 0.6^5 + \dots$$

B. 次の[1]～[3]を答えよ。

ある財の市場需要曲線が $D=100-P$ 、市場供給曲線が $S=P$ であるとする。D は需要量で S は供給量、P は価格を表す。

- [1] このとき、均衡価格を求めよ。
- [2] 市場均衡における消費者余剰(CS)、生産者余剰(PS)、社会的余剰(SS)をそれぞれ求めよ。
- [3] 政府が 40 単位の数量割当を課したとする。このとき、社会的余剰(SS)はいくらになるか。

C. 次の[1]～[2]を答えよ。

[1] 以下の文章を読み、正しければ○、誤っていれば×とせよ。

- (1) GNP とは、一定期間に国内で新しく生産された財・サービスの付加価値の総額である。
- (2) GDP デフレーターとは、物価の変動を判断するときに用いることができる指標である。
- (3) LM 曲線とは、財市場の均衡から導出される GDP と金利（利子率）の関係である。
- (4) IS-LM モデルにおいて、貨幣供給量が増加すると、IS 曲線は左下にシフトする。
- (5) 45 度線分析において、限界消費性向が 0.4 のとき、政府支出乗数は 8 である。
- (6) 現金預金比率が 0.2 で預金準備率（準備預金比率）が 0.4 のとき、貨幣乗数は 2 である。
- (7) 中央銀行が売りオペをすると、貨幣供給量を増やすことができる。
- (8) 名目金利が一定の場合、期待インフレ率が上昇すると、実質金利は下落する。
- (9) ソローモデルでは、経済は定常状態に達することはない。
- (10) 金利が 5% のとき、1 年後の 200 万円の割引現在価値は約 181.8 万円である。

[2] 以下の IS-LM モデルについて考える。

$$C = 150 + 0.5(Y - T), \quad I = 200 - 10r, \quad G = 100, \quad T = 100, \quad L = Y - 10r, \quad M = 500$$

ただし、 C は消費、 Y は GDP、 T は税金、 I は投資、 r は金利（利子率）、 G は政府支出、 L は貨幣需要、 M は貨幣供給である。

- (1) 均衡 GDP と均衡利子率を求めよ。
- (2) 政府が支出を $G = 100$ から $G = 250$ まで増加する。このとき、均衡 GDP と均衡利子率を求めよ。

令和7年度 経済学部編入学試験 解答用紙

[基礎テスト]

受験番号	氏名

得点	
----	--

A

[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
$\frac{e^{7x}}{\sqrt{x}}(14x + 1)$	-4	$\frac{9}{2}$	$\begin{pmatrix} 7 & -2 \\ -3 & 1 \end{pmatrix}$	2.5

B

[1]	[2] CS	PS	SS	[3]
P=50	1250	1250	2500	2400

C [1]

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	×	×	×	○	×	○	×	×

C [2]

(1) 均衡 GDP	均衡利子率	(2) 均衡 GDP	均衡利子率
600	10	700	20